

昨年からはじめたボケ対策のための資格取得チャレンジは長距離電車通勤のお陰でどうにか今日まで続けることができた。二陸特に始まり二海特、一陸特、航空特を取得後、次なる目標である第二種電気工事士は、4月22日のCBT試験合格（あくまで個人の予想、点数は後述）により、残すところ7月の技能試験だけとなった。

ということで、今回はこれまでの経過を忘れないうちに取り急ぎ備忘録として寄稿させていただく。今年1月に勉強を再開して気合いを入れ直した頃は正解率はまだ70%前後だった。それから停滞期が続いた。憶えては忘れの繰り返しだったが、2ヶ月くらい過ぎた頃から頭の中のごちゃごちゃした数値（例えば、対地電圧150、200、300Vによって変わる絶縁抵抗0.1、0.2、0.4MΩ、接地抵抗10、100、500Ωなどの値）の中から少しずつ正しい値がサッと出てくるようになった。問題のツボも分かってきて引っ掛け問題にやられないようにもなった。それに伴い解答時間が大幅に短縮できた。片道約90分の乗車時間内で一回分の過去問50問が解けるようになり、正解率も90%台をキープできるようになった。時折満点も取れるようになったことに驚くジイビー。

よっしゃー！ 自信がついてきたところで早く試験を受けたくなくなったが、試験受付は3月18日、CBT試験開始は4月22日でまだまだ先。今のコンディションをあとひと月半キープできるか心配だった。勉強をサボるとまた元の木阿弥。そんな悶々とした日々が過ぎてようやく試験の申し込みを行い、試験日は4月22日のCBT試験期間の初日を選択した。無線従事者試験で利用したことのある立川の試験センターは既に満席で予約できず、それならと会社から行きやすい秋葉原を選択することにした。

それからというものの試験が待ち遠しかったが、いよいよ来週となった試験3日前になって過去問の抜けが気になりだした。ジイビーの心配性が出てきた。最初にメルカリで買った中古の過去問集は2018年から2009年まで、次に念のためにと書店で買った参考書は最新の2024年度版でそれには2023年分のみしか掲載されていない。11年分の過去問（約2000問）やれば大丈夫だろうと思っていたがよくよく考えれば、前年の問題では傾向は掴めるがそれが今年の問題として出てくることは少ない。逆に2年前から5年前くらいがよく出てきそう。個人感想）更にCBT試験では傾向が分からない。そこで慌てて調べて2022年から2019年まで（約600問）を電気技術者試験センターのホームページからダウンロードして、今までやっていない問題がないか最終チェックすることにした。4年分の中に初めての問題が相当見つかり、やって良かったという結果となったが、お陰で電車通勤時以外で初めて土日に一夜漬け勉強をすることになってしまった。とても疲れたが、これで過去15年分を全てクリアして安心して落ち着いて試験を受けることができた。

さて、試験当日、午後半休を取って会社から秋葉原にあるCBT試験センターに向かった。事前に下見に行った際、親切な受付の方が色々説明してくれたので全く不安はなかった。その日は午前中から電車に遅れがでていたため早めに会場に行ったところ、2時の予約だったが1時くらいに試験を開始することができた。広い会場は平日月曜だったためか他の受験者は少なくわりと静かだったが、向かいのビル解体のハツリ工事が結構煩かった。防音耳当てが利用できてとても助かった。

目指すは満点合格！ 試験時間は2時間だが、目論見とおり順調に1時間弱で全て解答できた。更

